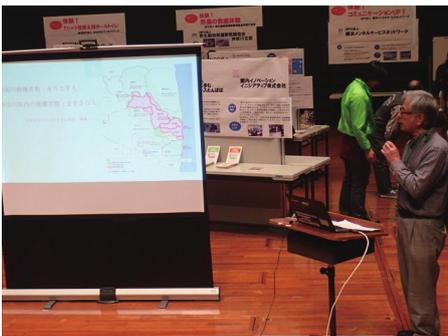


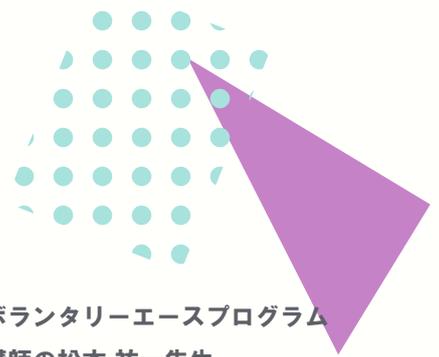
# Gallery

- 成果報告会の様子 -



成果報告会は、平成29年11月12日に行われた「かながわボランティアフェスタ2017」のプログラムの一つとして開催しました。

当日は、基金21関連団体をはじめ、多くのボランティア活動に関心のある方々に成果報告を聞いていただくことができ、大変有意義な時間となりました。



ボランティアエースプログラム  
講師の松本 祐一先生  
(多摩大学総合研究所教授、NPO  
サポートセンター理事)



## NPO 支援機関の専門力強化および、 NPO と支援機関のマッチングによる中長期計画策定支援

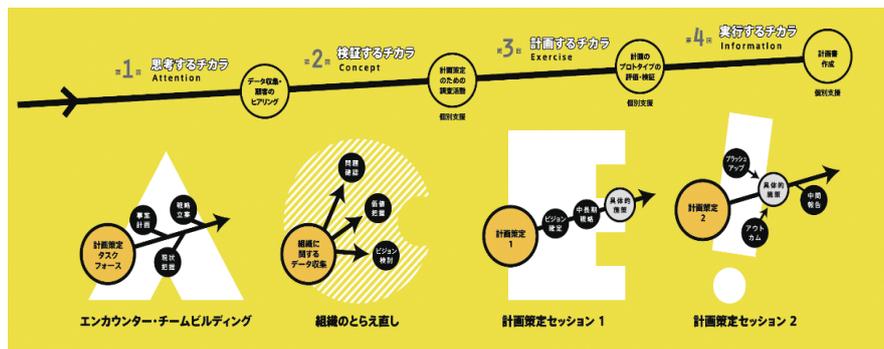
関内イノベーションイニシアティブ株式会社

### これからの豊かな神奈川をつくる

POINT

この事業では、神奈川県がより良い地域になるために、持続可能な NPO のビジネスモデルや、海外における NPO 関連施策などについて関係者の共通理解を深めるとともに、NPO の中長期計画策定を通して、効果的な支援策の創出、支援体制の確立を図ることを目的としている。

中間支援組織向けの講座を全3回、また、県内でボランティア活動をしている団体経営者を対象として、組織力強化のため中長期計画策定を支援する「ボランティアエースプログラム」を全4回行った。



上段：ボランティアエースプログラムの様子

下段：プログラム構成内容

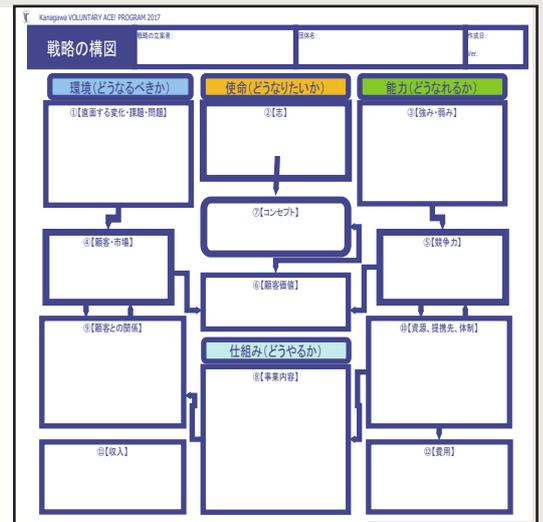
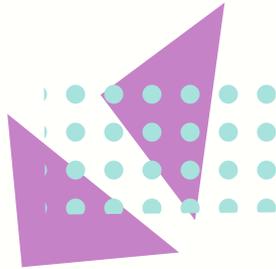
## 事業の成果

中間支援組織向けの講座では、NPOの認証についてのセミナーを行うなどNPO支援機関の専門性や基礎知識の向上を図った。また、NPOがどのようなサポートを必要としているのか、地域における中間支援組織の在り方について考えるワークショップを行った。

ボランティアエースプログラムでは、県内の中間支援組織の方々にも伴走支援者として参加いただき、団体に関わる環境や、団体として目指すもの、団体の強みと弱みをひとつのシートにまとめることで、それを団体に関わる様々なステークホルダーの人々と共有しながら、団体のどこを



ボランティアエースプログラムで使用したシート。このシートを埋めながら、団体としてどうなりたいのか、そのためにはどこを強化すべきかを明確にしていく。



強化したら良いかを考えるワークを行った。2015年は9団体、2016年は12団体が受講。参加団体の中から、組織体制の見直しや会員制度の改善、法人化を行う団体なども出ている。

併せて、これまで事業を行ってきた中で、NPO法人の特性が誤って理解されやすい事項等を整理し、ウェブページ『NPO運営のイロハ』に掲載した。

## 参加団体の声

顧客は誰か、顧客価値は何か、さらには団体の強みは何かを“客観的に”俯瞰した結果、自分たちの立ち位置が明確になり、やるべきことが具体化できました。  
(Sharing Caring CULTURE 三坂 慶子)

組織の「体幹力」を向上させることができたと思います。組織体幹は全ての動きの起点となるので、これを強化するとパワーやエネルギーの伝達がスムーズに、効率的になり、パフォーマンスが向上すると感じました。(特定非営利活動法人 まなびとくらし 内野徹)

## COMMENT



堀籠 宏幸さん

関内イノベーションイニシアティブ株式会社  
広報担当

## 〇担当者からひとこと

第2期目となるボランティアエースプログラムでは、松本先生のほか、第1期生を講師に迎え、本プログラムのポイントや実践でどのように活用しているのか、お話をいただきました。本年度は昨年度の参加団体とのつながりもでき、より充実した内容になりました。

## 〇団体プロフィール

- 関内イノベーションイニシアティブ株式会社
- 設立：平成22年12月 代表者：代表取締役 角田(治田)友香 住所：〒231-0003 横浜市 中区北仲通 3-33 関内フューチャーセンター
- 活動紹介：シェアオフィス mass×mass 関内フューチャーセンターを拠点にソーシャルビジネスを中心とした起業家の育成を実施しています。また、神奈川県内のNPOの活動サポートもしています。
- 〇事業詳細
- 事業期間：平成28年度 総事業費(1年間)：7,569,394円 委託費：7,200,000円